

教学IRが機能する組織におけるデータ管理

■講師

竹中 喜一（愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 講師）

平成 16 年 3 月大阪大学人間科学部卒業。民間企業での S E 等の業務、関西大学での事務職員としての F D、S D、教学 I R 等の業務、愛媛大学特任助教を経て、平成 31 年 4 月より現職。関西大学在籍中に業務と並行して名古屋大学大学院で高等教育論、大阪大学大学院で教育工学を専攻し、大学職員論をテーマに研究。博士（人間科学）。

山咲 博昭（広島市立大学 企画室 特任助教）

平成 22 年 3 月関西大学文学部卒業。平成 22 年 4 月学校法人関西大学へ入職、教務事務、大学基準協会出向、自己点検・評価（認証評価対応含む）等に事務職員として従事し、平成 31 年 4 月から現職。I R 担当教員として、データの収集・管理・分析等を担う。関西大学在籍中に業務と並行して桜美林大学大学院で高等教育論を専攻し、大学職員論をテーマに研究。修士（大学アドミニストレーション）。

■プログラム概要

教学 I R を進めるにあたって、学生や教育プログラムに関する教学 I R データの適切な収集・活用・管理が求められます。教学 I R データを適切に取り扱うためのルールがあれば、個人情報漏洩などのリスク回避はもちろん、教学 I R 担当者の倫理観醸成や教学 I R データの取扱に関する不安軽減にもつながられるでしょう。

そこで本研修では、教学 I R データを適切に取り扱うための①基本的な管理方法や留意点、②個人でできること、③組織的に行うこと、を中心に扱います。その中で、教学 I R データの管理に関するルールづくりの事例紹介も行います。

所属する組織において、データの取扱が適切かを確認し、取扱ルールを定めるためのヒントを得ることができる機会としたいと思います。

なお、本研修の対象は、主に教学 I R データの分析や管理を担当する教職員を想定しています。

■準備物や事前課題

所属部署あるいは大学におけるデータの取扱に関連する文書（規程、ガイドライン）の内容についてお尋ねしますので、予め確認をお願いします。

■主な受講対象

教学 I R データの分析や管理に関わる教職員

■本プログラムの到達目標

1. データを適切に取り扱うための基本的なルールや留意点を説明できる。
2. データを適切に取り扱うために求められる姿勢と行動を説明できる。
3. 所属大学でのデータの取扱のすぐれた点と課題を列挙することができる。

■日時・場所

日時：令和元年 8 月 28 日（水）10：00～12：00

場所：愛媛大学城北キャンパス